


- 1 対象事案名 第2次行橋市生涯学習推進計画（案）
- 2 意見等募集期間 令和5年2月1日～令和5年2月15日
- 3 意見の概要及び実施機関の考え方

意見の概要	実施機関の考え方
<p>1. 行橋市「生涯学習」の対象範囲の明確化                      (1) 生涯学習の対象範囲 [下図：広島市教育委員会より参照]</p>  <p>(2) 行橋市生涯学習の捉え方                      1) 行橋市の生涯学習の捉え方が図書館・公民館活動を主体としている。                      2) 故に、市民の生涯学習の満足度・重要度の把握が正確なのかが疑問となる。＝「第6次行橋市総合計画」の第2章 序論 行橋市の現況                      (2) 取組みの満足度・重要度＝「㊸生涯学習活動の推進」事項が、『Dゾーン』『重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）』になっていると想定される。</p> <p>(3) 生涯学習の効用 [広島県立生涯学習センターより参照]                      ●学習を通じての絆（仲間づくり）ができ、地域の連帯感が醸成される。                      ●学習によって文化的、経済的な工場、地域の教育力の活性化等がもたらされる。                      ●学習によって社会参加意識が高まり、ボランティア活動等が盛んになり行政経費の削減、その他の副次的効果を生む。                      ＊ボランティア活動の活発な地域は、犯罪発生率、失業率が低い傾向にある。</p>	<p>生涯学習においては、家庭教育、学校教育、社会教育が対象範囲となりますが、本計画の生涯学習の範囲は、学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、市民等を対象に行われる組織的な教育活動、体育及び文化・レクリエーション等の活動となります。また、本計画が対象とする事業は市主体で実施する生涯学習事業、市が他の主体と連携・協働して実施する学習事業となります。</p> <p>ご意見を参考に、本計画の生涯学習の範囲について定義いたします。</p>

意見の概要	実施機関の考え方
<p>2. 行橋市生涯学習推進計画の上位方針との整合性</p> <p>(1) 事例：民間企業の例で言うと今回の「第2次行橋市生涯学習推進計画」は、会社の長期経営方針の何を達成しようとしているか？ 所謂、市役所としての明確な上位方針との整合性が求められる。 また、それにより、生涯学習推進計画の目的が明らかになる。</p> <p>(2) 私が生涯学習の上位方針を考えたら、「第6次行橋市総合計画」の「基本理念」活躍するまち「基本方針」(7)一人ひとりが輝く「施策項目」⑩誰もが開かれた学びの場づくり⑪誰もが活躍できる機会の創出」と想定出来て、生涯学習推進計画(案)との整合がとれると思う。</p> <p>(3) 生涯学習の意義 [広島県立生涯学習センターより参照]</p> <p>1) 教育改革を行うため【教育の改革原理としての生涯学習】</p> <p>2) 政策課題を解決するため【政策課題の解決原理としての生涯学習】</p> <p>3) 人々の学習需要に対応するため【学習の支援原理としての生涯学習】</p> <p>3. 「生涯学習」を取り巻く社会等環境変化及び、「ライフステージ」毎の実施計画立案 主旨：10年間の長期計画であるので、現在、少なくとも分かっている「生涯学習」を取り巻く社会環境変化やそのキーワードを抽出してみる事が重要である。その上で「ライフステージ」に対応した学習の狙いと目標を設定し、それぞれの具体的な施策を立案する。</p>	<p>本計画は、第6次行橋市総合計画と連携した教育振興基本計画を上位計画として、前回計画の基本理念をもとに「いつでも どこでも ともに学び支え合う 生きがいつくりのまち 行橋」と定めております。そしてこの基本理念の実現に向け、3つの基本目標と12の施策の方向性を掲げ、取組を推進してまいります。</p> <p>御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>本計画は、本市の生涯学習の取組を推進していく基本計画であります。今後10年間、この基本計画のもとに各所管課にて具体的な施策・事業を展開していくための実施計画を立案・実施していくため、関連計画と連携して取組を進めてまいります。</p> <p>御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

お問合せ先

行橋市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係

TEL：0930-25-1111 (内線1333)